

# 総合計画・第1期実施計画の事務事業・施策評価と連携した行財政改革プログラムの取組評価 (前回資料)

## 平成28年度 各局等改革プログラム評価シート

取組の概要	
取組名	1(4)市民サービス向上に向けた民間部門の活用
実施計画の記載	12 公立保育所の民営化
事務事業コード	事務事業名
20102030	公立保育所運営事業
所属コード	所属名
担当者	担当者
連絡先	連絡先

取組に関連する事務事業名を記載

事務事業又は施策評価における成果(アウトカム)指標を活用

計画 (Plan)	
現状	平成17(2006)年度以降、指定管理者制度の導入や、運営とあわせ施設の整備・運営を委ねる手法により、平成27(2015)年4月期時点で、36 か所・38 園の公立保育所の民営化を実施し、定員保育の拡大及び市民サービス向上を図りました。さらには、保育所運動の民間譲渡及び買付の手法による民営化も推進する必要性があります。
取組の方向性	引き続き、多様化・増大化する保育需要に対応し、受入定員の増加や、一時保育事業、長時間延長保育の実施による質の高いサービス提供を確保するため、現時点で民営化の対象とする24 か所・26 園に於いて、施設の譲渡や買与等の手法も活用しながら民営化を推進します。
具体的な取組内容(具体的に今年度どのような活動をするのか)	(記録簿) 44か所・5園の民営化の実施(平成28年度)

実施結果 (Do)	
行財政改革プログラムにおける活動(アウトプット)指標	目標・実績
1 公立保育所の民営化箇所・園数	目標 44・48 実績 (例)40・44
2 現在、公設公営となっている保育園が民設民営に移行した数	目標 36・39 実績
3 説明	説明
4 状況の変化により目標を達成できなかった	4. 状況の変化により目標を達成できなかった

### 事務事業・施策評価の結果から

- 事務事業評価シートにおける「評価 (Check) (事務事業の必要性、有効性、効率性)」や「改善 (Action)」
- 施策評価シートにおける「今後の方向性」の反映

評価 (Check)	
総合計画又は行財政プログラムにおける成果(アウトカム)指標	目標・実績
1 (例)保育所等における利用者の満足度	目標 8.0 実績 (例)7.9
2 説明	説明
3 説明	説明

※行財政改革の目的とする経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)の確保等の視点から、取組の定性的効果又は指標値以外の定量的効果等を記入。また、成果指標と取組の関連性がわかりづらい場合など、必要に応じて、上記成果指標と取組の関連性の説明を記入。  
 ① 同一取組内容に付いて必要職員数の増減や、多様な主体との協働・連携の推進  
 ② 人材(個人)確保又は情報資源による資源の確保 ※要可成なるものは算定及び欄を明記  
 ③ 情報(二次、構造的)的効果又は効果的な情報(要)

取組の定性的効果	
取組の定性的効果	2
取組の定性的効果	2

改善 (Action)	
改善 (Action)	改善 (Action)
改善 (Action)	改善 (Action)

改善 (Action)	
改善 (Action)	改善 (Action)
改善 (Action)	改善 (Action)

### 次期の行財政改革の取組